



### ♪ 鹿児島県国際交流協会の各種講座 ♪

イギリス人 CIR ジョーさんと一緒に Let's enjoy English ♪

#### 英語絵本のおみかたり講座

県内各地で実施



- ◆対象：3～5歳までのお子さま
- ◆定員：親子8組（要申込・参加費無料）

志布志市	薩摩川内市	大和村	南九州市
10月15日(日)	10月28日(土)	11月5日(日)	11月18日(土)
【会場】	【会場】	【会場】	【会場】
志布志市立図書館 志ふれあい交流館	薩摩川内市国際交流 センター2階会議室	大和村防災センター	ちらん夢郷館
【お問合せ】	【お問合せ】	【お問合せ】	【お問合せ】
志布志市役所 コミュニティ推進課	薩摩川内市 国際交流協会	大和村役場 企画観光課	南九州市立 知覧図書館
099-472-1111	0996-22-7740	0997-57-2117	0993-83-4939

ベトナム文化を知って、ベトナム料理を作ろう！

#### ベトナム理解講座



11/12(日) 10:00~14:00

- ◆場所：かごしま県民交流センター5階調理実習室
- ◆参加費：無料
- ◆対象：県内在住高校生以上
- ◆定員：20名(先着順)  
☆事前申し込みが必要です  
☆申込受付中！  
☆エプロン・三角巾をご持参ください  
【問合せ・申込】099-221-6620

あなたのスキルを活かしませんか？

#### 日本語教育人材養成研修会

外国人のための日本語指導の基礎的な知識や技術を身につけるための総合的な講座です。

- 「日本語ボランティア入門講座(全3回)」
- 「日本語ボランティアスキルアップ講座(全6回)」
- 「日本語教師のためのスキルアップ講座(全2回)」
- ◆日程：11月下旬～2月下旬の日曜日
- ◆場所：かごしま県民交流センター 会議室A
- ◆講師：田中 芳氏(KBCC 日本語学科主任教員)
- ◆費用：無料  
☆募集開始は10月下旬予定  
(詳細はHPをご覧ください。)  
【問合せ・申込】099-221-6620

# 「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。今回は、県内在住オーストラリアご出身のダミアン ヒルさんをご紹介します。



## ダミアンさんについて教えてください。



私はダミアン ヒルです。妻と二人で鹿児島に住んでいます。家族は3人ですが、息子は東京にいます。鹿児島に来てからもう22年ですね。以前は通訳・翻訳、英会話講師を経て、地元の放送局のラジオやテレビのタレント・リポーターを経て現在は

World Active Co.Ltd 代表をしています。

鹿児島弁はまだ勉強中ですが、生活は慣れました。鹿児島市の子どもの英語力を高めることに力を注いでいます。

## 出身地について教えてください。

私はオーストラリアのナランデラというところの出身です。ナランデラはオーストラリアのニューサウスウェールズ州南部のリバリー



ナ地域にある、海からかなり離れた内陸の小さな町です。とても美しいマランビジー川に隣接するニューウェルハイウェイとスタートハイウェイの交差点にあり、マランビジー灌漑地域への玄関口として、皆よく知っている町です。

## 日本に初めてきたのはいつですか？

初めて来日したのは高校卒業後、交換留学生として日本にきました。山口に滞在しましたね。そしてその後、ワーキングホリデービザを取り日本にまた来て、京都市・滋賀県・札幌市・千葉県・山口県に住みました。この時に、日本の47都道府県をすべて回ることができました。ワーキングホリデービザが切れる一週間前、大津市でお世話になったホストファミリーのおかげで、最後の徳島県と高知県に行けたのです。日本の各地を旅し、色々な人と出会い、日本をとても満喫できました。

## 鹿児島に住み始めたのはいつで、なぜですか？

日本全国を回った時、多くの人から聞いた話があります。方言の中で鹿児島弁が一番難しい!と。それで鹿児島弁に興味を持ちました。そして、オーストラリアで出会った妻が鹿児島県の出身で、2001年に、鹿児島に来て、住むことになったのです。アウトドアが好きな私には鹿児島での生活はとても満足しています。

## 日本語の習得はどのような方法でできましたか？

はじめは日本語があまりわからず日本にきましたが、ホームステイ先の家族や周りの方々に少しずつ教えてもらいました。そしてオーストラリアに帰る前、記念に CD ショップで The Blue Hearts の CD を 2 枚買い、彼らの歌を聞きながら日本語を学びました。そして、二度目に日本に来た時、聞いた歌の歌詞からの日本語が日常生活で聞き取れた!その時の楽しみが日本語の勉強につながりましたね。はじめは意味が分からず聞いた歌でしたが、だんだん日本語の意味が分かり、使えるようになったのです。生活・環境からの勉強で習得しました。

## 鹿児島弁がとても上手ですが、どうやって勉強しましたか？

そうですね。まず、自分にとって日本語の方言は面白いです。オーストラリアの英語はあまりなまりとか、方言がないですね。それで、同郷の人と地元ではないところで、方言でお互いを認識し、出会う時のうれしさがあまりないです。片や日本人にとって故郷から出て、地元の方言を外で聞くとはすごくうれしいじゃないですか。そのうれしさはなかなか英語ではないですね。そのなか

で鹿児島弁、鹿児島弁はイントネーションも独特、単語もちがうことから色々な都道府県の人から難しい方言!と言われたので、興味はありました。オーストラリアで出会った妻が鹿児島人であることもあり、今は鹿児島弁にずいぶんなれました。妻の家族のおかげです。子どもが生まれたとき、自分と子どもどっちも同じレベルで鹿児島弁にふれ、慣れ学びましたね。今も、まだわからないことがたくさんあります。

## お仕事のことを話してください。

日本でのワーキングホリデーを終え、オーストラリアに戻ってからは日本語を使う仕事をしました。そして、ケアンズ (Cairns) に国際空港ができていて、日本語を使う仕事ができるかと思い、約6年間ケアンズに住みましたね。グレート・バリア・リーフがあり、海がとてもきれいなところです。ここでずっと日本語を使う仕事をしました。日本からの観光客が多い、珊瑚の島であるグリーンアイランドのリゾートで働き、ケアンズの不動産業でも働いたんです。

鹿児島に来てからは逆に英語を使う仕事をしてきました。翻訳や通訳、そして英語を教えることに携わり、今も英語を教える仕事をしています。オーストラリアにいます。オーストラリアに住む日本人家族の子どもに英語を教えた時、子どもの英語力の成長を目のあたりにしたことから、2004年、子どもを対象にした「クカキッズイングリッシュハウス」を開校、認可外保育施設である「鴨池インターナショナルキンダーガーデン」も開園して、幼児英語教育に力を注いできました。現在は4人の外国人スタッフ、4人の日本人スタッフで運営しています。来年で20周年を迎えます。



「鴨池インターナショナルキンダーガーデン」も開園して、幼児英語教育に力を注いできました。現在は4人の外国人スタッフ、4人の日本人スタッフで運営しています。来年で20周年を迎えます。

## クカはどういう意味ですか？

クカはキャラクターにもありますが、クカバラ (Kookaburra) という、オーストラリアを代表する鳥です。鳴き声独特でとても面白いです。オーストラリアに帰った時クカの鳴き声が聞こえると「あ、今オーストラリアにいるよね、帰ってきているね」と思います。(笑)



## ここではすべて英語でコミュニケーションをしますか？

そうですね。子どもたちとのコミュニケーションはすべて英語で行っています。講師はイギリス、アメリカ、オーストラリア出身であるため、英語での表現が異なる場合がありますが、子どもたちにはそれも一つの環境として自然に英語を聞き取り、英語になじむようにしています。

保育中・レッスン中のコミュニケーション、歌、遊び、食事、絵本、ビデオ、行事練習など、すべて英語で対応しています。

あ、保護者の皆さんとのコミュニケーションは日本語で行いますね。

## 最後に、これからの目標を教えてください。

来年、20周年を迎えることからより頑張っていきたいと思えます。また子どもたちがより英語を身近に感じ楽しむ環境を作りたいと思っています。プレイグラウンドが間もなく完成しますので、外で体を動かし、英語と同時にスポーツやゲームも学ぶことをさせたいですね。そして、個人的には鹿児島弁をもっと頑張りたいですね。



# 「かごしまから見える世界」 Vol.17

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、鹿児島市にある仙巖園をご紹介します。

コロナ禍も終息に向かい、国内外の人の動きが戻ってきた。クルーズ船の鹿児島入港も活発になり、街を歩いても欧米系とおぼしきツーリストがリュックを背負って歩いているのをよく見かけるようになった。今号は、そんなインバウンド客にも人気が高い歴史的庭園「仙巖園」を取り上げる。同園の観光交流課の課長さんである岩川拓夫学芸員のお話を聞きながら園内を廻った。

## 「鹿児島の名勝仙巖園」

仙巖園は、鹿児島市から始良市に向かう国道10号線沿いにある大きな和風庭園で、薩摩藩主島津家の別邸として江戸時代初期に建設された。目の前の錦江湾に浮かぶ雄大な桜島を借景とする庭園は、風致景観がすぐれ、芸術上または観賞上価値の高いものとして文部科学大臣から国の名勝に指定されている。

この仙巖園のある場所は、今こそ南側を国道とJR線路が走っているが、江戸時代の頃は庭園のすぐ目の前まで海が迫り、背後には峻険な岩山がそびえ立ち、当時の「三國名勝図会」には「山に靠(よ)り、海に臨み、別館を構へ、仙巖喜鶴亭と名づく」と書かれている。この「仙巖園」という名称は、中国江西省にある龍虎山の仙巖に似ているところから名づけられたものである。

## 「中国とのゆかり」

当時の薩摩藩は琉球と親密な関係にあり、琉球を通じて諸々の中国的な文物が伝えられているが、その影響はこの仙巖園の庭園造成の中にも多く見受けられる。例えば、園の背後に聳える岩山に大きく刻まれた大きな約一メートルの「千尋巖」の3文字。これは1814年、27代当主斉興によって作られたもので、高さ120メートルの竹の足場を組んで3ヶ月の日数と延べ3,900人の人夫を要したというが、このように岩に文字を刻む手法は中国式庭園に見られる要素である。また、歴代の島津家当主が別邸として(あるいは本邸として)起居した住まいである御殿を廻って見ると、きれいな金魚が泳ぐ中庭のお池の底が八角形に彫り込まれているが、これは古代中国の易の文化から生まれた八卦思想に基づく造作とされている。



御殿

さらに、庭園の一角には、江戸時代初期に琉球王国から薩摩藩主に贈られたと伝えられる望嶽楼と呼ばれる建物があるが、中国の古式建造物の情緒に富むこの建物(楼)は広さ約20平方メートル、屋根は四連瓦葺で、壁はなく四方とも開放、床には中国秦時代(紀元前3世紀)の阿房宮(始皇帝が建造した宮殿)の床瓦を模造したと伝えられる「磚(せん)」が273枚敷き詰められており、内部には中国東晋時代(4世紀)の書道家王羲之の書を模した扁額が掲げられている。この楼は薩摩藩主が琉球使節と面接する際に使用されたと言われているが、ここで錦江湾のさざ波の音を聞きながら背後の山々を仰ぎ見て、焼酎や泡盛を酌み交わしていたとしたら、どれほど風情に富んだものだったことだろうかと思わずにはいられない。

## 「イギリス公使パークスの来訪」

仙巖園は、幕末から近代においては欧米諸国の要人たちも多く訪れている。

幕末の1863年に起こった薩英戦争の後、薩摩藩は「昨日の敵」であったイギリスに急接近していく。また、イギリスも徳川將軍とのみの外交交渉から薩長藩にも配慮した対日政策へと変わっていった。それらを背景に、慶応2年(1866年)、薩英戦争の和平交渉の成立を経て、薩摩藩の要望に応える形で、イギリス公使パークスの鹿児島を訪問する。6月16日に鹿児島に入ると、29代当主忠義やその父久光、家老の小松帯刀らが盛大な歓待でパークスをもてなした。仙巖園で開催された宴には、初日には40品以上上のぼる日本料理が供され、その翌日は西洋料理という風に、滞在約1週間の間、まさに下にも置かぬ歓迎ぶりを受けた。特に西洋料理では(恐らく島津家中では)よく手慣れた料理である。豚の丸焼き3頭が食卓に上ったというから、パークス一行も驚いたに違いない。一方で、久光や忠義親子はこのとき、生まれて初めてパークスたちと「握手」という西洋風の挨拶を体験し、大いに戸惑っている。「異文化理解(Cross-cultural understanding)」の大切さは、昔も今も変わらないようだ。

それはさておき、現在、御殿の謁見の間には、パークス公使歓迎の宴に並べられたであろうテーブルウェアを再現した食卓が置かれている。中でもあでやかな彩色を放つ薩摩切子が見事だ。「薩摩の迎賓館」として大人数の外賓客が居並び、見事に手入れされた庭園を眺めながら豪華な食事を楽しむ様子はさぞ壮麗であつたであろう。なお、謁見の間の天井には、明治7年の改築の際にイギリスに特注して調達した島津の家紋入りのシャンデリアランプも上品な雰囲気を出している。



謁見の間

ちなみに、パークス公使はこの鹿児島訪問時に、英艦プリンセス・ロイヤル号上で西郷隆盛、松木弘安らと会談を行い、西郷らの真意を確認して、以後、イギリスは薩長を援助し、日本の統一的政策樹立を目指すという合意を得た。歴史の大きな歯車が一段回った出来事だった。

## 「明治にはニコライ皇太子も」

明治維新を経て明治24年(1891年)には、後にロシア帝国最後の皇帝となるニコライ皇太子が仙巖園を訪れている。皇太子はウラジオストクで行われるシベリア鉄道起工式に参列する途中で日本を親善訪問し、長崎などを回ったのち、鹿児島に入った。仙巖園には半日滞在しているが、この際には当主忠義の嫡男が先導する武者行列や騎射武芸などを皇太子に披露し、もてなしている。その後、皇太子が1896年にロマノフ朝皇帝に即位した際には、当時の12代沈壽官作の大きな薩摩焼蓋付壺一対が忠義から贈られた。現在、御殿の一室には、当代(15代)沈壽官氏により復元製作された見事な壺一対が展示されており、威容を誇っている。表面は四季折々の草木の絵できらびやかに彩られ、正面には口



薩摩焼蓋付壺

シア皇帝の王冠と「E」の文字が描かれているが、これはニコライを表すキリル文字からとったものであるという。まことに祝賀の心が溢れるような素晴らしい作品である。

## 「明治日本の産業革命を主導」

とこそ、薩摩藩(鹿児島)はどうかして明治維新の際に、あれほどの力を発揮できたのだろうか。これについては、ほとんどの人が恐らく28代当主斉彬の名前を挙げるだろう。「二つびんた(頭が二つある)」と言われるほど、極めて英明な人物で、当時の世界情勢や隣国中国の境遇などをつぶさに情報収集・分析し、欧米諸国の植民地政策に対抗するには軍備を含めた国力の充実が緊急の課題であると痛感した。そして、藩主の座を手に入れると、早速、海軍力強化のための造船事業を手始めに、製鉄のための反射炉や溶鉱炉、大砲の穴を開ける鑽開台を建設している。また、殖産のための紅色ガラスの製造(現在の薩摩切子に繋がる)。陶磁器製造、木炭製造、電信器・ガス灯・蒸気機関の研究など、どれも当時としては実に先進的で重要な各種事業を興し、これらの工場群を集積館と名付けた。この集積館事業は、斉彬の死後、一時縮小するが、薩英戦争後、再び外国技術者の招聘や設備導入が進められ、明治維新の原動力ともなり、その後の日本の近代化に大きく貢献することになった。そして現代に至り2015年、この旧集積館や木炭製造のための寺山炭窯跡などの県内遺産を含む、九州・山口を中心として現存する遺産群が「明治日本の産業革命遺産」としてユネスコの世界文化遺産に登録されたのである。

今、仙巖園の入口を右側には「世界文化遺産オリエンテーションセンター」が整備され、薩摩の近代化ストーリーがわかりやすく紹介されている。センター内には反射炉の復元模型が展示され、その内部構造をつぶさに見ることができ、江戸時代の姿を想像することができる。また、目を外に転ずると、一面ガラス張りの窓からは、基礎部分が残る実物の反射炉跡が一望でき、まぶしい光の中でそこに高く聳える炉の煙突が見えるようだ。

## 「現代の迎賓館」

当稿の取材のために園内を巡っていると、あちこちから日本語ではない会話の聞こえてくる。古くは日本の海外に向けての「南の玄関口」といわれた薩摩の中で外国客を迎える迎賓館ともなってきた仙巖園は、今、多くの国からの観光客を迎える景と史に彩られたランドマークとなっている。秋の一日、見どころ尽きない「お殿様の別邸」を、海外とのゆかりを見つげながらゆっくり回るのもいいかもしれない。

## 「仙巖園」

鹿児島市吉野町970001  
TEL 099-247-1155



# 世界あちこち便り

～150年前の鹿児島県人会～

4月24日、ロンドンのジャパン・ハウスで、岩倉使節団150周年記念の日英シンポジウムが開催されました。シンポジウムには、ビデオ・メッセージで挨拶された特命全権大使・岩倉具視の昆孫・岩倉正和氏、視察報告書『米欧回覧実記』を執筆・編集した久米邦武の曾孫・久米邦貞氏をはじめ、日英の錚々たる顔ぶれが挨拶される中、私もパネル・ディスカッションに登壇し、鹿児島と英国のゆかりの深さを訴えてまいりました。



岩倉使節団150周年記念の日英シンポジウム

私がこのシンポジウムに登壇させていただいたのは、ちょうど150年前の1873年(明治6年)4月にパリで撮影された「大久保利通を囲む鹿児島県人会集合写真」との出会いがきっかけでした。このご縁についてご紹介いたします。



大久保利通を囲む鹿児島県人会集合写真(村田新八遺品保存会蔵)

私はロンドン大学キングス・カレッジに留学するため渡英し、物理学科を卒業した後、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ(UCL)へ進み、数学科で計算流体力学を研究しておりました。伊藤博文をはじめとする長州藩からの留学生、いわゆる長州ファイブ

が渡英して130周年の1993年9月、鹿児島の日英友好協会の尽力でUCLの中庭に薩摩藩と長州藩からの留学生を讃える碑が建立され、私もUCLの日本人大学院生ということで除幕式に参列させていただきました。

それから20年後、長州ファイブ渡英150周年の2013年にUCLで式典が行われることになり、英国の邦字紙から依頼されて「英国に渡った幕末留学生 長州ファイブと薩摩スチューデント」を寄稿しました。薩摩藩留学生の渡英150周年の2015年には在英国日本国大使館で開催された講演会「対立から友好へ：薩英関係の歴史」で、鹿児島史学の権威・原口泉教授とともに講演させていただき、栄誉にも浴しました。さらにこの年には訪鹿し、黎明館学芸員の町田剛士さんに幕末と維新ゆかりの地を案内いただきました。

そして黎明館で開催されていた「幕末薩摩の留学生：日本近代化の若き先駆者たち」展を訪れたとき、展示されていた「大久保利通を囲む鹿児島県人会集合写真」の説明文に驚かされました。そこには母方の高祖父・高崎正風の名前が記されていたからです。この1873年4月にパリで撮影された写真は「村田新八遺品保存会蔵」とあり、岩倉使節団の理事官随員として大久保に同行した村田新八をはじめ16名の鹿児島県人が写っています。大久保と一緒にパリにいたということは、高祖父は岩倉

使節団に随行していたのか?と思い、この写真の16名について調べ始めました。

すると、岩倉使節団の一員であったのは大久保と村田だけで、ほかは、兵器開発と軍制を研究するためジュネーブに留学していた陸軍大佐・大山巖、オーストリア万博に出席した後、視察旅行を続けていた海軍少輔・川村純義、司法省視察団の一員として欧州各国の警察を視察していた「日本警察の父」川路利良らがあり、高崎正風は左院視察団として英仏の議会制度を調査するため欧州に滞在していたことがわかりました。左院とは明治初期の立法諮問機関で、岩倉使節団と同時期に派遣された視察団は、議会を中心とした立法・行政の議事制度を研究していました。

岩倉使節団は1873年3月、ドイツのベルリンからロシアのサンクトペテルブルクへ向かいますが、副使の大久保は急遽帰国の途につきます。日本の留守政府で強まる征韓論を抑えるため、西郷隆盛を説得できる大久保に帰国が求められたからです。帰路の途中、大久保はパリに立ち寄ります。パリには、使節団随員を辞して留学に切り換え、そのまま滞っていた村田がおり、また薩摩藩留学生のひとり、鮫島尚信が在仏公使として駐在していました。

パリに到着した大久保は、オペラ座の隣にあるホテル「ル・グラン・オテル」(現インターコンチネンタル・ホテル)に滞在していましたが、その斜向かいにあった写真館、アトリエ・ナダルで「大久保利通を囲む鹿児島県人会集合写真」が撮影されました。アトリエ・ナダルのあったブルヴァール・デ・キャプシーヌ35番地の建物は、現在は外観の面影を残しつつ近代的なオフィスビルに建て替えられています。

鹿児島島の志士たちがパリに集ってから150年後の今日、英国鹿児島県人会には30余名が参加しており、年数回の「飲ん方」に集って交友を深めています。現在の県人会は1996年に初会合が開催され、当初は駐在員が中心でしたが、最近では永住者が多くなっています。英国と鹿児島島の交流も盛んになっており、薩摩藩留学生の渡英150周年の2015年に始められた高校生向けサマースクール、UCL日本ユース・チャレンジには、薩摩スチューデント派遣事業として鹿児島県から高校生が参加しており、また2018年にはUCLのあるロンドンのカムデン区と鹿児島県の友好協定が結ばれています。

これからも英国と鹿児島のご縁が深まっていくことを願っております。

清水 健(しみず たけし) イギリス・ロンドン在住



ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ数学科博士課程修了。NHKとBBCにて放送通訳、科学ジャーナリストを務めるかわら、日英交流史とシャーロック・ホームズ学を研究している。

# 鹿児島日独協会

鹿児島市

## ◆鹿児島日独協会とはどのような団体ですか？

鹿児島とドイツ語圏との友好親善と相互理解の促進を目指して、1971年5月に設立されました。以来およそ50年にわたり、ドイツ語圏との人的・文化的交流を行っています。会員は現在102名です。



サロンコンサートの様子

## ◆どんな活動をしていますか？

また、県民の方はどのように関わることができますか？

年4回の例会(講演会2回、サロンコンサート、クリスマス例会)のほか、鹿児島大学との共催により、ドイツ語圏の社会と文化に関するパネル展やドイツ総領事を招いての講演会などを開催しています。また今年からは一般(中学生から社会人まで)を対象とした初心者向けの夏季ドイツ語教養講座も始めました。県民の皆さまには講演会とパネル展(無料)はもちろん、ドイツ語講座やサロンコンサート(有料)も会員同様にご参加いただけます。

## ◆県民の方へメッセージをお願いします。

阿久根市出身の寺島宗則が1862年グリム兄弟の兄ヤーコブをベルリンに訪ねて以来、ドイツ語圏と鹿児島は160年の長きにわたる交流の歴史があります。とりわけ音楽や医学の分野でドイツに親しみを感じる方々も多いのではないのでしょうか？ 関心のある皆さまの例会への参加や入会(年会費3,000円)をお待ちしています。



夏季ドイツ語教養講座の様子

鹿児島日独協会事務局  
〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30  
鹿児島大学法文学部 中島(大)研究室気付  
TEL:099-285-8895  
E-Mail: nakajima@leh.kagoshima-u.ac.jp

Facebook



# かごしまの 国際交流団体紹介



# 国際ソロプチミスト鹿児島

鹿児島市

## ◆国際ソロプチミスト鹿児島とはどのような団体ですか？

国際ソロプチミストは1921年カリフォルニアオークランドで誕生。世界120か国に約66,000人の会員を有し、鹿児島クラブは1973年認証、50周年を迎え社会的・経済的エンパワーメントをもたらす様々なプログラムを通じて女性と女性の生活向上のために奉仕活動をする奉仕団体です。

## ◆どんな活動をしていますか？

また、県民の方はどのように関わることができますか？

- 女性と女性の夢プログラム・夢を生きる・夢を拓く
- 大きなゴール加速プロジェクト(2021~2031)・夢をつなぐ
- あらゆる暴力から女性と女性を守る活動
- 大学地域コンソーシアム鹿児島への参加、協賛
- スペシャルオリンピックス日本・鹿児島への支援
- UNHCRとの連携 難民援助 災害救援
- 世界規模での自立支援南リジョンプロジェクト
- (公財)ソロプチミスト日本財団事業

## ◆県民の方へメッセージをお願いします。

会員数42名が奉仕活動の実現のために県内外で様々な資金調達事業も行っております。奉仕活動に興味を持たれた方、ご質問等は下記連絡先へお問い合わせ下さい



国際ソロプチミスト鹿児島事務局  
〒890-0016 鹿児島市新照院町41-1  
城山ホテル鹿児島517号室  
TEL:099-227-5731 FAX:099-227-5733  
Email: jimukyoku@sia-kagoshima.org

HP



Facebook





# JICA デスク鹿児島からのお知らせ！

2023年度秋募集

11/1[水]

12/11[月]

～JICA 海外協力隊 2023年度秋募集がもうすぐ始まります！～

いつか世界を変える力になる。

## JICA海外協力隊

JICA 海外協力隊とは、JICA（独立行政法人国際協力機構）が派遣する海外ボランティアのことです。隊員は2年間、開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行っています。帰国後は、日本をはじめ様々な国や分野で、経験を生かした貢献が期待されています。約200の職種の中からきっとあなたにできる国際協力の形が見つかるはずですよ。

**「人生なんて、きっかけひとつ！」**



### <JICA 海外協力隊説明会>

① 11月12日(日)

時間：14:00～16:00

会場：イオンタウン始良  
(西街区2階タウンホール)

② 11月26日(日)

時間：14:00～16:00

会場：天文館図書館  
(交流スペース:階段付近)

説明会では、協力隊員とのオンライン交流や個別相談会などを実施します。和やかな雰囲気の説明会となっておりますので、ぜひお気軽にお越しください。

相談は随時受付中！  
QRコードより、お申込下さい。



JICA デスク鹿児島 担当:飯屋 TEL:090-7167-4238 (公財)鹿児島県国際交流協会内



がいこくじんそうごうそうだんまどぐち

## 外国人総合相談窓口

鹿児島県にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

**対応言語**：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

鹿児島県国際交流協会内

TEL：070-7662-4541

E-mail：kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会  
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: [kia@kiaweb.or.jp](mailto:kia@kiaweb.or.jp)

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。